

セルリの栽培 (八)

大 岩 金

セルリの貯藏法

セルリを貯藏するには凍らぬ程度に冷かな事が必要でありまして寧ろ多少濕つてゐる位で通風も計らなければなりませんから先づ地下室或は穴藏といふ様な場所が好都合の様であります。以下に一二の例を擧げて記述致します。

特に寒冷でありまして凍結する様な慮のありません時は多少温度を與へるのであります。此の場合には直接の火氣でなく間接の温度を供給する装置が必要であります。

家庭用として栽培された場合に一般的に行はれる方法であります。

その方法としましては土寄をしまして土で堤を作るのであります。が寒天が續き結水する様になりますと寄せた土は崩れましてセルリを土表に現はす様になりますから豫め寄土した上に藁或は落葉又は堆肥等の類を三—四インチの厚さに覆つておきますとその心配がないのであります。この様にしましてよく冬期間の貯藏に堪へ得られますけれども冬の終り即ち早春迄完全に貯藏する事は相當困難な事でありまして。

畑に於ける貯藏法

温床利用貯藏法

是はセルリが畑に生育して居りますのをなるべく根を害さぬ様に堀取して温床の熱源のない床へ植ゑ付けて貯藏する方法であります。

即ち床の内部は清潔に掃除を行つて底部は軟い土壌を三——四インチ位の厚さに入れセルリはそれへ丁寧な植ゑるのであります。その植ゑる各株の距離は五インチ位を普通としますから根は充分密接して植ゑるのであります。その時床面は濕潤でなければなりません。セルリ其自體に水分を注ぐ事は禁物であります。そこで植ゑ終りましたならば通風を計り床内を全く冷涼にしましてから藁或は落葉等を以つて覆つておかねばなりません。又都合に依りましては板を覆つておくのもよろしく、又其の板の上へ堆肥とか藁等を積み重ねておくのも一方法であります。この際注意せねばなりません事は床内の空氣の流通を計る爲に通風孔を造つておくこととあります。

尙この床に植ゑ込み得る量に就て申添へておきます。普通の温床としましては深さ一八インチ幅四フィート位でありますから假りに四フィート幅としまして是の平方面積内に植ゑられる株は前記株間で一四四株植ゑられる理であります。

穴藏利用貯藏法

この方法も亦床面には軟土を三——四インチの厚さに入れ凍らぬ程度の冷氣を保たせますと同時に換氣の點にも注意せねばなりません。植ゑ付はやはり密接させるのであります。それで床の土壤は濕つてゐる必要はありますがセルリにはやはり水を注がぬ様注意せねばなりません。

溝内貯藏法

是は畑へ溝を堀りその内へセルリを抜き取つたまゝで密に竝べ直ちに土を以つて覆ふのであります。

是を少し丁寧に溝の兩側に板をおきセルリを竝

べて落葉等を覆つて覆土するのもよいのでありますが、要するに本方法は長期間の貯藏としましては不可能であります。

尙晩秋から冬期にわたる長期間の貯藏を致しすには相當の設備を必要とするのであります。即ち煉瓦等で壁を造り屋根は天井を付け換氣装置を充分に造る等の必要があります。植糸付等は前述の様に軟土を敷き密植するのであります。床の間へ板で空地を造り換氣を計りますのに都合のよい様にするのであります。

又一部分を一區域としまして板圍して通風を計ると同時に若し發病等した場合の豫防に備へる方法も講ぜられます。要するに本法は最も貴重な冬中の利用を目的とするのであります。又長期でもありますから最大の注意を取らねばなりません。

次に販賣といふ事に就て洗滌、荷造、整理、販路等に就て少し考へてみたいと思ひましたが先を急ぎますから本稿は取り止めまして只收穫後食膳に供する間（店頭等で或は買取つて調理迄）の保

存法に就て一言しておきます。只放置しておきますと香氣を失する事が甚大でありますから桶等に少量の水を入れそれに浸しておく事があります。是はなんでもない事ではありますが、割合長く新鮮味と養氣とを供へ便利な方法であります。

次にセルリの種子の事ではありますが之も記述を廢します。唯其目的に依りまして例へば軟白貯藏に適するとか丈の高いもの低いもの等がありますから信用ある種子商からお求めになる事をお進め致します。特殊の事を述べねばならないと思ひましたが是もその要を痛感しませんから止めておきます。そこで本稿を終るに當りまして園藝といふ事即ち土に親しむ事が健康上に或は娛樂として又は金錢上の利益精神の修養（此の點は到底思ひ及ぶ所ではありませんが）といつた様な方面をも考へてみたいと思つて居りましたが是も亦後日の機を得てと思ひましてこゝでは誠に粗末な事ではありましたが以上で一先づ筆を止める事に致します。

本稿を發表させて戴きました主幹堀先生の御好意を感謝致します。